

科目シラバス 2024年度

--

■科目基本情報

科目名	環境工学	科目コード	A260
授業時数/週	3 時間/週	年次・学期	2 年 ・ 前期
必修/選択区分	必修	授業形態	講義
担当教員	新堂雄美		
教員の実務経験	有：実務経験のある教員による授業科目	実務経験職種	建築設計
職業実践専門課程		連携企業等	
備考			

■科目詳細情報

授業概要	建築環境工学：建築環境が人体の健康などの及ぼす影響を学ぶ											
到達目標	建築空間に大きな影響を与える環境工学に関する知識の習得											
授業方法	講義形式による授業を行い、単元ごとに演習問題を実施する。											
実践的教育の内容	当該授業科目を担当する教員は、設計事務所にて各種構造の住宅や集合住宅、その他建築物の設計・管理に携わっていた経歴があり、事例を通して実務に則した授業を行う。											
成績評価方法	筆記試験 定期試験	100%	筆記試験 小テスト	0%	実技試験	0%	課題評価	0%	平常評価	0%	合計	100%
授業外における学修	特になし											
教科書・教材	「図説 やさしい建築環境」学芸出版社 ISBN:978-4-7615-2476-0											
参考文献・資料	参考資料を随時配布する											
履修上の留意点	特になし											
授業計画	第1週	建築音響計画① 音の基礎と音の伝搬										
	第2週	建築音響計画② 室内音場										
	第3週	建築音響計画③ 音環境の評価										
	第4週	建築音響計画④ 演習問題実施										
	第5週	建築光環境計画① 太陽エネルギーと居住環境										
	第6週	建築光環境計画② 日照の検討										
	第7週	建築光環境計画③ 日射の検討										
	第8週	建築光環境計画④ 演習問題実施										
	第9週	建築照明環境計画① 視環境										
	第10週	建築照明環境計画② 各種光源										
	第11週	建築照明環境計画③ 各種照明の計画										
	第12週	建築照明環境計画④ 演習問題実施										
	第13週	建築空気環境計画① 居室内の良好な空気環境の維持										
	第14週	建築空気環境計画② 居室内の良好な空気環境の管理										
	第15週	建築熱環境 建物の伝熱メカニズムの理解										
	第16週	建築熱環境 建物の伝熱メカニズムの理解										
	第17週	建築熱環境 建物の伝熱メカニズムの理解										